

地中海学会連続講演会 vol.6 全3回シリーズ

2026年9月12日－26日

「狩猟の営み—動物との共存」

9月12日(土) **いとも美しき鹿を追いかけて—中世美術にみる聖性・狩猟・王権**

高木 麻紀子 (明治学院大学文学部芸術学科准教授、西洋中世美術史)

9月19日(土) **人間と馬の戯れ**

本村 凌二 (東京大学名誉教授、古代ローマ史)

9月26日(土) **オスマン帝国の狩猟文化**

川本 智史 (東京外国語大学大学院総合国際学研究院准教授、イスラム建築史)

熊や鹿、野生動物との共存が社会的な課題となる昨今、わたしたちはいまいちど、野生動物との関係や距離を見つめ直すことが求められています。人類は太古の昔から狩猟を営み、狩猟を通して多様な文化や価値観を育んできました。狩猟は生きるための手段であっただけではなく、王侯貴族の文化として昇華され、政治や社会、芸術に大きな影響をも与えてきました。そこで本講座では、古代ローマ、中世ヨーロッパ、イスラム世界において、自然と人間、聖と俗、高貴と野蛮、娯楽と軍事—相反する価値を結びつけてきた狩猟文化に注目し、その豊かな世界観に迫ります。地中海世界における狩猟の歴史を通して、人間と自然の関係、そして現代社会における人間のあり方についてヒントを得る機会になれば幸いです。

■ 会場：アーティゾン美術館 3階レクチャールーム

■ 時間：14:00–15:30 (開場13:30)

■ 定員：80人(事前予約制・先着順) *定員に達し次第、受付終了

■ 参加費：無料

■ 申込受付開始:8/7(金) 11:00

■ 申込：アーティゾン美術館ホームページから
www.artizon.museum/program/detail/1



■ 備考：*当日、体調の悪い方、発熱や咳き込み等の症状のある方はご参加いただけません。
*諸般の事情により、プログラムを中止することがあります。

アーティゾン美術館 〒104-0031東京都中央区京橋1-7-2 www.artizon.museum

JR東京駅(八重洲中央口)、東京メトロ銀座線・京橋駅(6番、7番出口)、東京メトロ・銀座線/東西線/都営浅草線・日本橋駅(B1出口)から徒歩5分